



当たり前の日常を過ごせることに感謝を

新年度が始まり、もうすぐ2か月が過ぎようとしています。1年生も学校生活にも随分と慣れてきて、放課後には運動場から元気な声が、そして校舎の中では楽器の音色が響き、コロナ前のような活気のある日常生活が戻ってきています。3年半という長きにわたり、様々な制限を受け辛抱しながら学校生活を送ってきましたが、コロナ禍の中気付いた、当たり前にある日常を過ごせることに感謝し、1日1日を充実したものにしてほしいと思います。これからは気温もどんどん上がり、体の疲れや気持ちの緩みも出始める頃です。「今、しなければならぬことは何か」ということをしっかり考え、日々の授業や部活動に、集中して取り組んでいきましょう。

～避難訓練を実施しました～

5月8日、地震発生後に津波が発生する、という想定で第1回避難訓練を実施しました。駐車場へ1次避難をした後、校舎の3階へ2次避難をしました。直前に石川県で震度6強の地震が発生したこともあり、真剣な面持ちでの訓練となりました。私たちの住む地域でも、今後30年以内に70～80%の確率で南海トラフ巨大地震が起こるとされています。非常時には、訓練通りに動こうとする心理が働くので、今後実施する避難訓練にも、引き続き真剣な態度で臨んでください。



～県中総体南部Bブロック大会に向けて～

先月下旬には、選手権大会等各種大会が開催され、それぞれの競技で精一杯競技に取り組む姿を見ることができました。3年生にとっては最後になる大会まで、もう1か月を切っています。コロナ禍の中、大会自体が中止になったこともありましたが、通常通り開催されることや、これまで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、選手の皆さんが一中の代表として誇りをもってプレーし、自分の持てる力を十分発揮できることを祈念しています。

